

教科・領域【 国 語 】 科目【 国語表現 】

学科・コース	インテリア科（必修）， 電子機械科・情報技術科（選択）	学 年	第 3 学年	単位数	2 単位
--------	--------------------------------	-----	--------	-----	------

1 学習内容と学習到達目標

<ol style="list-style-type: none"> 1 国語を的確に理解し適切に表現するために必要な知識，技能を身に付けます。 2 情報化社会において必要な文章作成の基本技法を身につけます。 3 言語に対する関心を持ち，現代の国語の向上を図ります。
--

2 使用する主な教材等

(1) 使用教科書，副教材等 ・ 「国語表現」（大修館書店） ・ 電子辞書もしくは国語辞典
(2) 授業で配布するもの ・ 学習プリント

3 年間の学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 (特記事項や他教科との関連等)	考 査 範 囲 等
一 学 期	1 書いて伝える (1) 整った文を書く (2) わかりやすい文を書く (3) 文のつなぎ方 (4) 絵や写真を見て書く ・ 表現への扉1	4 5	・ わかりやすく伝えるための工夫や表現の仕方など，書く活動における基本的な能力を培う。		一 学期 中間 考査
	2 小論文・レポート入門 (1) 小論文とは何か (2) 反論を想定して書く (3) 資料を読み取って書く (4) 発想を広げて書く (5) レポートを書く (6) 論文を書くために ・ 表現の扉2	6 7	・ 自分の意見を理由・根拠に基づき論理的に表現する能力を養う。 ・ 読み手を納得させるための説得力のある文章を書く。		
	3 自己PRと面接 (1) 自分を見つめて (2) 効果的な自己PR (3) 将来の自分を考えよう (4) 志望動機をまとめよう (5) 面接にチャレンジ ・ 表現への扉3		・ 自己のこれまでの生活を振り返り，自身を客観視する。 ・ 自分を的確に他者にアピールするために必要な力を身に付ける。 ・ 将来について考え，進路実現に必要なことを考える。		一 学期 期末 考査
《課題・提出物等》 1 授業の中で使用するプリント 2 授業中に作成した作文等 3 ノート，テキスト					
《1学期の学習状況の評価方法》 1 中間考査と期末考査の成績，プリントや授業中に作成した作文等の内容，学習活動への取り組みの内容や姿勢，態度を総合して100点満点で評価します。 2 評価の内訳は，中間考査と期末考査の成績70%，プリントや授業中作成した作文等の内容，ノートやテキストへの取り組みの内容や学習へ取り組む姿勢，態度が30%です。					

二 学 期	4 メディアを駆使する (1) 通信文を書き分ける (2) 電話を使いこなす (3) ネット社会とコミュニケーション (4) メディアと情報 ・ 表現への扉4	9 10 11	<ul style="list-style-type: none"> さまざまなメディアの特性を知り、使いこなせるようになる。 手紙の書き方の基本的な作法を理解するとともに、相手に応じた適切な言葉遣いや文体を工夫できるようになる。 目的や場に応じて言葉遣いや表現を工夫して話したり、相手の立場や考えを尊重して聞いたりする姿勢を学ぶ。 	二学期中間考
	5 声とコミュニケーション (1) 言葉のストレッチ体操 (2) リーダーズシアターを聞こう (3) ショートスピーチをしよう ・ 表現への扉5	12	<ul style="list-style-type: none"> 「聞く」、「話す」、「伝え合う」ことの基礎的な能力を培う。 表情や身振りなどに注意しながら、相手に伝えるための工夫をする。 	二学期期末考査
《課題・提出物等》 1 授業の中で使用するプリント 2 授業中に作成した作文等 3 ノート, テキスト				
《2学期の学習状況の評価方法》 1 中間考査と期末考査の成績, プリントや授業中に作成した作文等の内容, 学習活動への取り組みの内容や姿勢, 態度を総合して100点満点で評価します。 2 評価の内訳は, 中間考査と期末考査の成績70%, プリントや授業中作成した作文等の内容, ノートやテキストへの取り組みの内容や学習へ取り組む姿勢, 態度が30%です。				
三 学 期	6 会話・議論・発表 (1) 相手や場面に応じた会話 (2) 議論して結論を出す (3) プレゼンテーションの工夫 ・ 表現への扉6	1 2	<ul style="list-style-type: none"> 自分と相手との立場の違いを認識し、相手を尊重した美しい言葉遣いができるようになる。 論理的な思考力や討論する力・説得する力・聞く力を身につけることの必要性を理解する。 	学年末考査
	《課題・提出物等》 1 授業の中で使用するプリント 2 授業中に作成した手紙等 3 ノート, テキスト			
《3学期の学習状況の評価方法》 1 卒業考査の成績, プリントや授業中に作成した作文等の内容, 学習活動への取り組みの内容や姿勢, 態度を総合して100点満点で評価します。 2 評価の内訳は, 卒業考査の成績70%, プリントや授業中作成した作文等の内容, ノートやテキストへの取り組みの内容や学習へ取り組む姿勢, 態度が30%です。				
《年間の学習状況の評価方法》 皆さんの学習状況は, 1学期の成績, 2学期の成績及び3学期の成績を総合し, 年間の学習成績とします。				

4 評価の観点と趣旨

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	知識・理解
国語で伝え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じた言葉遣いを身に付けている。また、効果的に話したり、的確に聞き取ったり、話し合ったりすることを通して、自分の考えをまとめ、深めている。	文章作成をする上での正しい表記や、文章の構成についての基本が身につけている。相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書くことで、自分の考えを深めている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりを理解し、社会で生きる国語表現の知識を身に付けている。

